



ツキノワグマの人里への出没と捕獲数の変動は、秋期の主要なエサである堅果類などの結実状況と関連していることが分かっています。そのため、ツキノワグマだけではなく多くの野生動物が利用するどんぐりの結実状況を把握した上で、人への注意喚起をすることを目的に、今年も8月に市内西部の結実状況を調査しました。



ブナ(令和2年8月)



コナラ(平成25年10月)

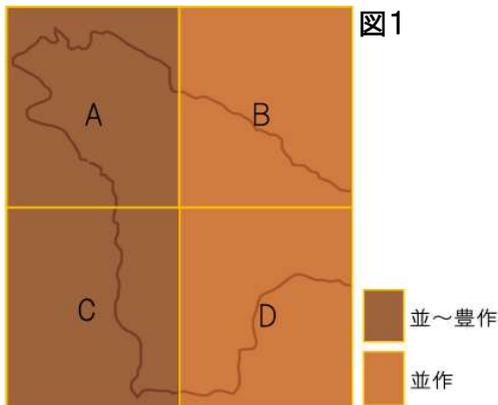


ミズナラ(平成25年10月)



ヤマグリ(平成26年10月)

下の図(図1)は、市内西部を4つのエリアに分けて着果状況を表したものです。どんぐりは、高標高域に分布するブナ(Aエリアに数本)、ミズナラ(主にA、Cエリア)と、低～高標高域に分布するヤマグリ、コナラです。昨年の市内西部全体の実りは、不～並作でしたが、今年は並作です。樹種別(表1)にみると、昨年凶作だったブナは並作、昨年並作だったミズナラは並～豊作、昨年不作だったヤマグリは不～並作、昨年不～並作だったコナラは並～豊作です。また、本市の西隣に位置する檜原村の状況も確認し(2地点)、ブナは豊作、ミズナラは不～並作、ヤマグリは並作、コナラは並～豊作でした。



樹種	結実状況
ブナ	並作
ミズナラ	並～豊作
ヤマグリ	不～並作
コナラ	並～豊作

表1



未熟なドングリに昆虫が産卵し切り落とした



できることからやりましょう

- * 果実は収穫しましょう
- * 漬物樽や肥料などは屋内に入れましょう
- * ゴミは決まった時間に出しましょう
- * 野生動物への餌付けはやめましょう
- * 野生動物の隠れ場所になる草藪を整備しましょう
- * 山に入る心構えや準備をしましょう
- * 夜の一人歩きは控えましょう

今年新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、コレンジャーのどんぐり調査活動は中止しました。そのため、今年は「地域の暮らしを守るため、生物多様性を守り育てるためにできること」をテーマにした新ポスターが無いのですが、養沢、青木平、乙津、落合、戸倉、寺岡、軍道、深沢地区では、昨年から継続してコレンジャーポスターを掲示していただいています。

いつもご協力いただきありがとうございます！

秋の自然・体験あれこれ



竜胆（リンドウ）

晩秋、山で出会うと、うっとりしてしまうのがリンドウ。葉の深緑色に映える青紫色のリンドウは、キキョウと共に秋を代表する花です。日が当たると開き、日が当たらないと閉じる。花が咲いていないと残念に感じるかもしれませんが、暗い林床でソフトクリームのような可愛らしい姿を見ると、私は一層うっとりしてしまいます。

リンドウは、蜜腺が雌しべの根元にあり、蜜に誘われて昆虫が訪れ、他の花に受粉してくれるのを秋の野で待っています。

玄鳥去（ツバメサル）

暖かな春風とともにツバメがこの地にもやってきます。五日市街道を歩きながら、ツバメが成長していく様子を見守り観察していました。

しばらくすると、子育てを終えて巣の周りから姿を消していましたが、8月下旬の朝早く、巣を作った住宅の壁にキツツキのごとく止まって集まり、鳴き交している不思議な場面を目撃しました。

なんだか、南へ旅立つ日時や進路を相談しているように見えたり見えなかったり…

いよいよ、今月から越冬のために南へと移動します。また来春！



第10期森の子コレンジャー始動

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や天候不順によって、毎年5月に始動するコレンジャー活動ですが、ようやく9月に始動！…の予定でしたが、台風などの影響で中止としました(; ∨ ;) 今月下旬に始動できることを祈って…

今期は、感染症拡大防止のために、みんなで気をつけることがあり、例年通りの活動とはいきませんが「自然の中にお邪魔する」という、何があっても変わらない気持ちを胸に、コレンジャーそれぞれが、自然の声に耳を傾けられる機会を、共に作っていきたいと思います！



9月の市内小学校の小宮地区体験学習

市内小学校の小宮地区体験学習は、感染症拡大防止対策のため、8月までの学習は中止等となりました。9月には3校の体験が予定されていましたが、延期又は森林レンジャーが各小学校を訪問して授業を実施する学習に変更となりました。

子どもたちに、小宮地区や自然を体験してもらえない今、私たちができることで、子どもたちが自然にワクワク♪したり、理解を深められるような出前授業を実施したいと思います！

